

# 令和7年度 西東京市立田無第二中学校 学校経営計画

学校名	西東京市立田無第二中学校	校長名	三沢 英俊
-----	--------------	-----	-------

## 教育理念及び教育目標

「いきいきさわやかな二中生」を本校の伝統と誇りとして守り続けるために、「誇れる上級生 学ぶ下級生」を常に掲げる。そして、変化が継続する複雑・多様なグローバル社会の中で、生徒が夢や希望を持ち、自らのよさ・強み【資質・能力】を発揮し、社会の関心のある領域で他者と協働し堂々と生きていけるよう、持続可能な共生社会の創り手となるその素地を引き出し培う。

<教育目標>

- 健康・・・健康な心身と自主独立の精神を養う ・・・ 【心身】  
誠実・・・誠実公正な態度と豊かな知性を身に付ける ・・・ 【知】  
敬愛・・・敬愛奉仕の精神に富んだ人間性を培う ・・・ 【徳】

## 学校の特色

- 伝統に培われた「地域からの信頼と母校愛」
- 自主・自立の精神に基づき主体的・意欲的に「生徒が自ら創り上げる学校」
- 一人ひとりを大切にする学級・学年創り・誰一人取り残さない特別支援教育の授実
- 「協働的な学習」と個別の学習支援による個に応じた「個別最適な学習」の一体的充実
- 充実した人生のための、体力増進、心身の健康など「健康教育の推進」
- コミュニティスクールとして保護者地域・関係諸機関との「質の高い行動連携

## 目指す学校像（学校像、生徒像、教師像）

### 【目指す学校像】 「いきいきさわやか 田無二中」

「生徒の安心安全を保障し、生徒が明るく笑顔で学べる学校、地域の学校として、地域・保護者に信頼される学校」

- ①生徒にとって明るく楽しく、将来の【自主自立】に向けて、安心してチャレンジし、自らのよさ・強み発揮し相互に高め合える学校
- ②保護者・地域の方々が、未来を担う子供たちを通わせたいと思う信頼できる学校
- ③コミュニティスクールとして保護者・地域と共に歩み協働する学校

### 【目指す生徒像】

「他者を尊重し、自他の可能性を相互に高め合い、協働し、自ら学び、課題の探究図る生徒」

- ①自らの将来へ向け「夢と希望を持って努力し自らの可能性やよさを見出し高める」生徒
- ②自らを高めるために「正しい判断力と行動力がある」生徒
- ③他者に対して「豊かな人権意識を持ち、自己の責任を果たし他者と協働できる」生徒

### 【目指す教師像】

「豊かな人権感覚をもち、自らの多様な可能性やよさ・強みを発揮し、地域と協働し、組織的に教育活動に精進する教師」

- ①自己研鑽に努め、法令・服務規律を遵守する。  
「生徒・保護者から信頼され、自らを高めながら生徒を成長させる」教師
- ②教育のプロとしての誇りをもつ  
「生徒の意欲を育て成長を促す、よりよい指導方法を常に考え実行する」教師
- ③組織人としての自覚を持ち、生徒のためによりよい教育環境・学校づくりに邁進する  
「組織の一員として協調し、かつ新取の精神をもって創造的な努力を惜しまない」教師

## 学校経営の目標

### 1 中期・短期経営目標（中間的課題）

- (1) 「探究力・学びを生かす力」の育成……【実社会に生きて働く学力】
- (2) 「豊かな感性・実践力」の育成
- (3) 「GIGA スクール構想」の推進
- (4) 「キャリア形成・夢の実現」の支援（※令和3年度 西東京市キャリア教育研究奨励校）
- (5) 「やり抜く力・たくましい心と体」の育成
- (6) 「規範意識、及び持続可能な社会の形成を図る力」の育成
- (7) 「小中連携教育」の推進（※令和6,7年度 西東京市小中連携教育研究指定校）
- (8) 「インクルーシブ教育」の推進
- (9) 「不登校生徒の支援」及び「特別支援教育」の充実
- (10) 「西東京あったか先生」の推進
- (11) 「ライフワーク・バランス」の推進

## 具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

- (1) 「基礎基本を活かし探究する力」の育成……(実社会に生きて働く学力)
  - ・生徒の視点から、生徒が「考えやすい」「話しやすい」「学びやすい」生徒主体の学びを支援し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。
  - ・良質なインプットや「問い合わせ」を工夫し、生徒の興味・関心を喚起し「自ら学ぶ力」を引き出し、「深い理解」や「思考」を伴うアウトプットにより「基礎基本」及び「思考力・判断力・表現力」を培う。タブレット等の活用により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る。
  - ・自ら課題を設定し「探究する力」や、自ら学び進め、自己に適した学習方法を見出す力を培う。
  - ・数学、英語において、習熟度別少人数指導を実施し、より個に応じた指導の充実を図る。
- (2) 「豊かな感性・実践力」の育成
  - ・市民社会の根幹となる差別や偏見のない「自由の相互承認」の感度を育み、他者理解を深め協働する力を培う。また、いじめの未然防止や虐待の早期発見・対応・解決を図る。
  - ・課題解決に向けて多様な人々と協働し相互に高め合う共生社会に必要な資質・能力を培う。
- (3) 「キャリア形成・自己実現」の支援
  - ・生徒が各教科や学校の学びのよきや価値を見出し自己のキャリア形成に生かせるようにする。
  - ・キャリア・パスポートを活用し、生徒の自己理解の深化と意図的なキャリア形成を促す。
  - ・コミュニティスクールとして地域人材を活用した「西東京ふるさと探究学習」の充実を図る。
- (4) 「やり抜く力・たくましい心と体」の育成
  - ・生徒が自らの学習目標や見通しをもち、軌道修正を図りながら、目標を達成しようと常に前向きに学習を進める、やり抜く力を培う。
  - ・生徒が自ら創り上げる行事等を成功させ、達成感や自己肯定感を育み、やり抜く力を培う。
  - ・保健体育や体育的行事において、生徒の基礎体力の向上を図る。また、健康教育を推進する。
- (5) 「規範意識の醸成、及び持続可能な社会の形成を図る力」の育成
  - ・学級活動や委員会等のよりよい集団活動を目指し互いの意見や主張を調整し合い、ルール等をつくり合う経験から規範意識の醸成を図る。
  - ・SDGsの17の目標の中の「13.気候変動に具体的な対策を」に重点的に取り組む。
- (6) 「GIGA スクール構想」の推進
  - ・ICTやタブレットを活用し、学校と家庭の双方で多様な生徒一人一人に応じた「個別最適な学び」と多様な個性を生かす「協働的な学び」の相乗効果による一体的な充実を図る。
- (7) 「西東京ふるさと探究学習」の推進
  - ・地域の人材や資源・文化等を活用した体験的で探究的な学びを展開する。
  - ・地域に根差した視点から、生徒が自分の将来を見据えながら、生徒それぞれの興味関心を生かし「自分ごと」とする 探究学習 の充実を図り、課題解決力を培う。
- (8) 「不登校生徒の支援」及び「特別支援教育」の充実
  - ・校内委員会により組織的な情報共有を図り、校内スクールカウンセラー及び外部機関と連携し、不登校生徒の支援及び特別支援教育を充実させる。
- (9) 「西東京あったか先生」の推進
  - ・担当部教員による服務研修を毎月1回組織的に実施し、当該月に発生しやすい事故防止チェックシートを毎回行い、服務事故をゼロにする。また西東京市子ども条例の周知等を行う。
- (10) 「ライフワーク・バランス」の推進
  - ・教職員の各自の担当業務の改善の推進し、分掌組織の見える化により、整理・統合化を図る。